

地域課題解決支援プロジェクト 「民と連携した空き家対策と利活用の推進」協議会

1 参加自治体

玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、赤磐市、矢掛町、鏡野町、美咲町

2 コーディネーター

特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュ 代表理事 有江 正太

3 中間支援組織

一般社団法人 岡山住まいと暮らしの相談センター 代表理事 石田 正美

4 取組実績

【令和3年度】

各市町が抱える現状や課題を整理・共有し、空き家問題を総合的に取り扱う中間支援組織の設立に向け、課題解決のために必要な機能や担い手等について、ワークショップを通じてイメージを膨らませ、方向性について検討した。

・第1回協議会（5月18日）

Web会議

コーディネーターの進行による協議

各市町の空き家対策における取組や現状を確認し、管理不全空き家の対応や空き家バンクへの登録促進など共通する課題を整理した。また、テーマである、空き家を総合的に扱う民間組織について、要望や意見を出し合った。



・第2回協議会（6月23日）

Web会議

コーディネーターの進行による協議

中間支援組織に関するヒアリング結果を基に、各市町から組織に対するサポート希望や担い手等について、現在のイメージを説明してもらい、協議会内で共有した。



・第3回協議会（7月29日）

コーディネーターの進行による協議

県建築指導課、住宅課が実施しているテーマ関連事業及び中間支援組織であるコーディネーターの活動内容を紹介した。また、ワークショップを行い、各市町の空き家対策に関する制度や相談先等について再認識し、中間支援組織のイメージを膨らませ、方向性について検討した。

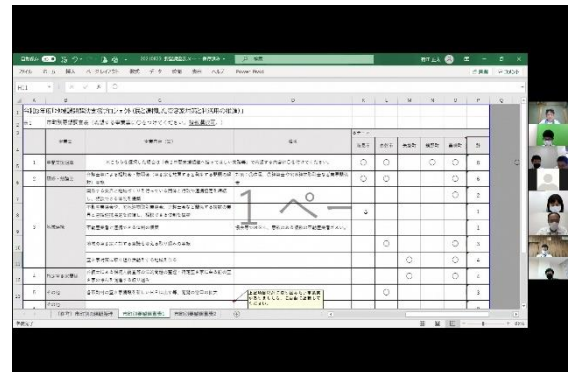


・第4回協議会（9月14日）

Web会議

コーディネーターの進行による協議

これまでの協議会で出た意見を踏まえて、中間支援組織以外の事業要望を集計し、期待する効果や展望等の意見出しを行った結果、複数事業を並行して進めていく方向性でまとまった。また、実施する事業候補の整理及び今後のスケジュール案の確認をした。



・第5回協議会（10月7日）

コーディネーターの進行による協議

中間支援組織設立に向けたスタートアップ事業及び相談会等を通じた地域の意識啓発の2事業を協議会全体で並行して実施することを共有した。

また、コーディネーターから、中間支援組織事業の骨子等について説明があり、これまで出た意見から根幹となる事業の絞り込み及び委託先について協議した。



・第6回協議会（10月19日）

コーディネーターの進行による協議

来年度事業における委託先の検討材料として、空き家対策の活動をしている団体による事業紹介を行い、意見や感想を出し合った。

相談会等による意識啓発事業については、各市町が想定している対象者や内容等を共有し、委託先と協議が必要になる項目の洗い出しを行った。



・第7回協議会（11月10日）

コーディネーターの進行による協議

委託先候補に対して、協議会が希望する事業内容等について対応可能かヒアリングを行った。

また、来年度のスケジュール案や予算について、県から説明し、前回からの継続協議である相談会等の開催方法や内容をより具体化した。



【令和4年度】

・第1回協議会（4月28日）

コーディネーターの進行による協議

昨年度の振り返り、本年度計画・規約・予算の確認を行い、今後どの様に協議会を進めていくかについて、スケジュールや目標の共有を行った。



・職員研修（6月3日）

中間支援組織の進行による研修会

各参加協議会市町をはじめとして、協議会会員以外の市町村を含む岡山県内の市町村空き家対策担当者に対して研修会を実施した。



・第2回協議会（7月28日）

コーディネーターの進行による協議

窓口への相談・相談会実績の確認、職員研修会についての報告を共有した。また、参加市町に依頼していた追加事業の提案について、高梁市より2事業の説明を受け、協議の結果、2事業を実施していくことに決定した。また、次年度以降の自走について、事前に行った参加市町への意向確認を基に協議会にて意見交換を実施した。



・第3回協議会（9月8日）

コーディネーターの進行による協議

相談会の実施報告を受け、相談会の周知方法等、各市町での取組を共有し、効果的な周知方法について意見交換を行った。また、次年度以降の自走に向けて、参加市町が抱える課題と前回協議会の振り返りを行い、現時点での各市町の方角性を確認した。



・全体セミナー赤磐会場（10月2日）

中間支援組織の進行によるセミナー

協議会参加市町に物件がある空き家所有者や相続人に向け空き家問題を啓発するための全体セミナーを実施した。当日は、参加者27名のうち、赤磐市在住者が約45%、岡山市在住者が約30%、その他市町が約25%の参加があった。



・全体セミナー美咲会場（10月22日）

中間支援組織の進行によるセミナー

協議会参加市町に物件がある空き家所有者や相続人に向け空き家問題を啓発するための全体セミナーを実施した。当日は、参加者47名のうち、岡山市・倉敷市から全体参加者の約53%、隣接する津山市から約15%、真庭市から約11%、その他市町から約6%の参加があった。



・第4回協議会（12月14日）

コーディネーターの進行による協議

次年度以降の自走について、各市町の方向性を共有し、岡山県建築指導課にて職員研修会の実施が決定した。また、活動報告会について、資料を基に事業の振り返りを行い、役割分担を決定した。



・サブリース制度創設に関する研修会（12月14日）

岡山住まいと暮らしの相談センターの進行による研修会

さらなる空き家の利活用を推進していくため、他県でのサブリースを導入している実例を聞き、制度創設へ向けた研修会を開催した。



・空き家バンク登録に係る判定基準作成業務 現地視察（2月13日）

岡山住まいと暮らしの相談センターの進行による現地視察

空き家バンク登録制度のさらなる推進のため、外部の専門家に対して空き家バンク登録に係る判定基準の作成を依頼した。その一環として、作成した判定基準を実際に使用し、実務で活用できるかの確認のため、現地調査を実施した。

